

発 言 通 告 書

発言者氏名	杉田 惺
発言の会議	平成29年 2月24日 本会議
発言の種類	質 疑、一般質問、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、一問一答
答弁を求める者	市 長、上下水道局長、教育委員会委員長、 教育長

【件名及び発言の要旨】

1 JR久里浜駅周辺のまちづくりについて

- (1) 同地域整備検討経過の認識について
- (2) 同地域の再開発を断念した責任について
- (3) 同開発に向けた地元の熱意に対する対応について
- (4) 「都市計画マスタープラン」における同地域の交通結節点機能強化の具体的な内容及び同強化に向けた取り組みの進捗状況について
- (5) 同地域における国やJR東日本所有の土地の有効活用に向けた土地所有者への働きかけに至った経緯及び現在の状況について
- (6) 同地域における跨線橋での東西地域連結による効果について
- (7) 「都市計画マスタープラン」における同地域の「ユニバーサルデザインに配慮した環境整備」の具体的な内容について
- (8) JR久里浜駅改札周辺における複合ビル構想及び警察署予定地奥の国有地への南体育館移転の検討について

- (9) 同検討を実施した場合の財源確保及び実施手法について
- (10) 久里浜・田浦線を横断している引き込み線に対する課題認識及び同課題の解決に向けた具体的な取り組みについて
- (11) 浦賀警察署移転を踏まえた同引き込み線の改善について

2 観光について

- (1) 外国人の観光集客について
 - ア 東京オリンピック・パラリンピック効果が期待できる 2020年度の観光客目標数について
 - イ 観光を基幹産業として捉え、地方創生にもつなげようとする国の狙いを踏まえた今後の取り組みについて
 - ウ 外国人観光客の集客プロモーションによる効果について
 - (ア) 昨年の外国人観光客数について
 - (イ) 立ち寄り先とその傾向について
 - (ウ) 経済波及効果について
 - エ 同プロモーションにおける課題について
 - オ 日帰り客をターゲットとする「コト買い」に向けた対策について
- (2) 本市観光の展望について
 - ア 「日本遺産」認定から約 10 カ月経過しての観光客の新たな流れの有無及び観光資源としての「日本遺産」の今後の育成について
- (3) 久里浜地区の新たな観光資源の創出について
 - ア 同地区に新たに進出した大型温浴施設の観光資源としての位置づけについて
 - イ くりはま花の国に誕生する大型遊具施設の観光資源としての活用方法について

- ウ 同施設の指定管理者に対し要請する来園者増加策について
- エ 同地区のペリー公園を含めた3施設を回遊する新たな観光エリアの創出について
- オ 同3施設の連携の場の立ち上げについて
- カ 同3施設の回遊に関する環境づくりへの取り組みについて
- キ 新たな観光コース誕生のためのくりはま花の国ライフル射撃場駐車場から大型遊具施設までの階段整備について
- ク ペリー記念館の見学経験の有無について
- ケ 同記念館の展示物について
 - (ア) 日本の開国を導いた地としてふさわしい展示内容について
 - (イ) 市外からの見学者を引き寄せる展示内容について
- コ 同記念館への来館者数について
 - (ア) 来館者が少ない理由について
 - (イ) この実態に対する対処について
- サ 同記念館への見学について
 - (ア) 小学校における社会科授業の一環としての見学実施の有無について
 - (イ) 実施していない場合の理由及び見学実施の必要性について
- シ 同記念館の展示内容の充実を含めた施設の見直し検討の必要性について

3 財政について

- (1) 財政基本計画について
 - ア 2017年度予算で計画期間が終了する第2次財政基本計画の総括について

イ 2018年度からの第3次財政基本計画の基本方針について

(2) 行政改革について

ア 厳しい財政状況下におけるさまざまな行政需要への対応について

イ 事務事業等の総点検において今までと同様の見直し効果額を期待することは厳しく、さらに税収減など財政的に厳しい局面を迎える中で「第3次行政改革プラン」策定に臨む姿勢について

ウ 新たな財源確保に向けた取り組みについて

エ 行政改革による施策の見直しとあわせ受益者負担の適正化を図ることの必要性について

4 市所有の未利用地の売却について

(1) 現在保有している未利用地の概算金額について

(2) 売却可能と思われる未利用地の概算金額について

(3) 未利用地売却までに要する所管部局での整理期間の平均について

(4) ノウハウのない職員に土地の整理を担当させることによるモチベーション低下への危惧について

(5) 未利用地を財政部が一括管理し、土地売却に民間事業者を活用することの有効性について

5 障害者福祉における新たな相談支援体制の構築について

(1) 本市の障害者数に対する見解について

(2) 障害者相談支援体制の認識及び課題について

(3) 障害種別にかかわらずワンストップで相談が受けられる体制の必要性について

- (4) 基幹相談支援センター設置に関する「横須賀市障害とくらしの支援協議会」からの提言におけるポイントについて
- (5) 同協議会からの意見を踏まえた上での相談支援体制の再構築とあわせて同センター設置の検討について

6 介護報酬について

- (1) 質の高いサービスにより要介護度を改善させた事業所の報酬が少なくなる現行の報酬体系について
- (2) 利用者の要介護度や日常生活活動を改善した事業所に成果報酬として報奨金を与える制度を始めた川崎市の先駆的な取り組みに対する評価について
- (3) 要介護度を改善させた事業所へのインセンティブについて
- (4) 同改善により減収となる事業所への補填を行う施策の必要性について

7 市営住宅を含めた住宅政策について

- (1) 住宅困窮者へ公平・的確に住宅供給するための管理のあり方の見直しについて
- (2) 公営住宅の役割が多様化する中での市営住宅の意義及び有効活用について
- (3) 公営住宅に入れない子育て世帯や高齢者世帯への支援としての空き家の活用について
- (4) 福祉政策との連携や空き家等の民間住宅の活用を含めた視野での住宅困窮者への住宅政策検討の必要性について
- (5) 同制度設計に取り組む考えの有無について

8 高齢ドライバーの問題について

- (1) 本市の高齢運転者による交通事故について

- ア 死亡事故及び死亡に至らない事故の現状について
 - イ 男女別の傾向について
 - ウ 事故の原因が、運転技量に起因する事故によるものか認知症によるものか。
- (2) 「第10次横須賀市交通安全計画」の中で取り上げた高齢運転者に関する事項のポイントについて
 - (3) 高齢運転者の運転免許証自主返納を進めるための警察との連携について
 - (4) 高齢運転者の認知機能への不安にきめ細かく対応するための今後の対応について
 - (5) 同自主返納を進めるための「はつらつシニアパス」の活用について
 - (6) 通学路の安全対策としての歩行者通行帯整備の必要性について
 - (7) 高齢運転者対策の旗振り役となることについて

9 水道料金改定について

- (1) 水道事業会計における2018年度以降の事業収支の見通しについて
- (2) 水道料金改定の基本的な考え方について
- (3) 同料金改定を行う場合の利用者への対応について
- (4) 同料金改定の際に今後発生する更新やメンテナンス料も含めた検討を行う必要性について
- (5) 同料金の値上げに対する見解について

10 学力向上について

- (1) 2016年度「横須賀市立小・中学校学習状況調査」結果に対す

る見解について

- (2) 同調査結果が2013年度調査結果とほぼ同じ傾向であったことに対する見解について
- (3) 2013年度同調査結果概要におけるコメントの真意及び同コメントを保護者等が受けとめる際の考え方について
- (4) 学校で独自に行う試験における「平均点」の意味及び「平均点」を保護者等が受けとめる際の考え方について
- (5) 2016年度同調査結果を踏まえた2013年度同コメントの妥当性について
- (6) 同コメントの中で「具体的な取り組みにつなげていってください」とあるが、これは誰から誰に対するものか。また、取り組みを主導して行くのは誰と考えているか。
- (7) 2013年度同調査結果の総括者及び同総括者からの結果を踏まえた対策等の指示の有無について
- (8) 学力向上における教育委員会の役割及び同役割の認識状況について
- (9) 2016年度同調査結果に対する教育委員会定例会における報告書内容が2013年度同コメントと同じである理由について
- (10) 学習指導改善に向けた強い意志について
- (11) 学力向上に向けた牽引者がはっきりしていない姿勢について
- (12) 小学校における学習指導要領改訂に伴う「外国語活動」・「外国語」指導による教員の新たな負担増に対する支援体制について
- (13) 中学校における教員の部活動による負担に対する認識について
- (14) 生徒たちへ部活動のよりよい指導環境を提供するための対策について
- (15) 教員の負担軽減のための部活動指導者派遣増員及び派遣回数見直しの検討について

11 都市ランキングについて

- (1) 「都市データパック」の都市ランキングにおいて毎年順位が下がっているが、この状況を市民に聞かれたときにどのように説明するか。
- (2) 「横須賀市長マニフェスト最終評価委員会」の評価結果に反し、同都市ランキングでの順位が下がっている理由について
- (3) 今の本市の現状を病気に例えると慢性病に似ている。前進させるには、外科的処置のようなダイナミックな施策を打っていかなければならないと考えるが、どのような処方箋を考えているか。

12 都市イメージ向上について

- (1) 本市のイメージ向上に向けた原石を探すこと、さらにその原石の磨き上げについて市長はどのように考えているか。また、都市イメージ向上についてどのように考えているか。